

第8次宮城県地域医療計画の達成状況・進捗状況

【進捗状況 凡例】
 計画策定時の数値と把握可能な最新値を比較して
 目標値に近づいている指標 … ↗ 目標値から遠ざかっている指標 … ↘
 数値が同じ指標 … = 数値及び年度が同じ指標 … —

【第7編】医療従事者の確保

分野	目指すべき取組の方向性	令和6年度の主な事業実施状況	数値目標						事業の今後の方向性				
			指標	計画策定時 (指標値及び把握時点)		把握可能な最新値 (2025年3月時点)		目標値 (2029年度末時点)		達成状況 (2025年3月時点)	進捗状況 (2025年3月時点)		
医師の確保 (第1節～第4節)	○ 県内の4つの医療圏のうち3つの医療圏が医師少数区域である状況を踏まえ、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、県内の地域医療を担う医師の確保及び定着、そして地域・診療科間の偏在解消に向け、大学、医師会、医療機関等の関係機関と連携を図りながら、医師の招へいや医学生への支援、医師本人が安心して勤務できる魅力ある環境の整備など、短期的な施策と中長期的な施策を組み合わせた取組を総合的に推進します。	<p>【医師育成機構運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「宮城県医師育成機構」において、医学生・医師のキャリア形成やネットワークづくり支援等を通じ、医師にとって魅力的な環境を整備し、県内への医師の招聘、定着を推進する。 ● 医学生に対するキャリア形成支援や、地域医療に関する研修・広報活動等に取り組み、令和7年度から県内で臨床研修を開始する研修医は185人となった。 ● 本事業によるキャリア形成支援のほか、各医師確保対策事業と連携し、県内医療機関(仙台市を除く)に109人の医師を配置した。 <p>【自治医科大学関係事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自治医科大学の運営(負担金支出)を通じて、将来本県の地域医療を支える人材を養成する。 ● 自治医科大学への運営費負担金の支出を通じて、本県の地域医療を支える人材の養成に寄与した。 <p>【東北大学地域枠対応医学生修学資金貸付事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 将来県内の自治体病院等で勤務する意思を有する医学生(東北大学・地域枠)を対象に修学資金を貸与し、地域医療に従事する医師の確保を図る。 ● 41人の医学生に修学資金の貸付を行い、将来、自治体病院等で勤務する医師の確保に繋げた。 ● 令和8年度から、本事業で修学資金を貸与した7人の医師が県内医療機関で勤務開始予定。 <p>【勤務環境改善事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療従事者の業務負担軽減及び勤務環境改善を図るため、医療勤務環境改善支援センター(県医師会委託)による医療機関への相談支援等を行うとともに、医療業務補助者に係る人件費補助や、勤務環境マネジメントシステム・医師労働時間短縮計画に基づく取組への支援を実施する。 ● 医療勤務環境改善支援センターの運営 医療機関が行う医療従事者の勤務環境改善活動の促進を図るため、支援センターの運営を行った。 ● 医療業務補助者配置支援事業 医療業務補助者97人の配置に対し、支援を実施。 ● 医療勤務環境改善支援事業 25病院へ補助を実施。 ● 地域医療勤務環境改善体制整備事業 2病院へ補助を実施。 ● 地域医療勤務環境改善体制整備特別事業 2病院へ補助を実施。 	計画期間中に医師少数区域及び医師少数都道府県が計画期間開始時の下位33.3%の基準を脱するために要する具体的な医師数	宮城県	5,950人	令和2年度	宮城県	6,347人	令和6年度	宮城県 5,950人 (2026年度末)	達成	↗	<p>【医師育成機構運営事業】</p> <p>医師の招聘、定着の推進に寄与しており、引き続き効果的な支援となるよう検討を続けながら今後も事業内容を継続する。</p> <p>【自治医科大学関係事業】</p> <p>自治医科大学卒業医師は本県の地域医療にとって不可欠であり、今後も事業内容を継続する。</p> <p>【東北大学地域枠対応医学生修学資金貸付事業】</p> <p>地域医療を担う自治体病院等の医師確保に寄与しており、今後も事業内容を継続する。</p> <p>【勤務環境改善事業】</p> <p>医療従事者の業務負担軽減及び勤務環境改善を図るため、当該事業内容を継続する。</p>
				仙南	278人	令和2年度	仙南	274人	令和6年度	仙南 278人 (2026年度末)	未達成	↘	
				仙台	4,621人	令和2年度	仙台	4,973人	令和6年度	仙台 4,621人 (2026年度末)	達成	↗	
				大崎・栗原	482人	令和2年度	大崎・栗原	491人	令和6年度	大崎・栗原 482人 (2026年度末)	達成	↗	
				石巻・登米・気仙沼	569人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	609人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼 569人 (2026年度末)	達成	↗	

分野	目指すべき取組の方向性	令和6年度の主な事業実施状況	数値目標							事業の今後の方向性			
			指標	計画策定時 (指標値及び把握時点)		把握可能な最新値 (2025年3月時点)		目標値 (2029年度末時点)	達成状況 (2025年3月時点)		進捗状況 (2025年3月時点)		
医師の確保 (第5節 産科・小児科 医)	○ 住み慣れた地域で安心して子どもを産むことのできる周産期医療体制の維持・充実を目指します。 ○ 小児医療ニーズの変化に対応し、適切な医療を将来にわたって持続的に提供していくため、切れ目のない小児医療提供体制の整備を図ります。	【周産期医療医師養成・配置支援事業】 ● 周産期医師の養成・県内の地域周産期母子医療センター配置に係る支援を行う。 ● 県内の地域周産期母子医療センターへの配置医師数:延べ24名(3医療機関) 【新生児医療研修センターの設置による新生児科指導医の養成】 ● 東北大学病院に設置された新生児医療研修センターの運営費を補助運営費を補助し、新生児専門医を育成する取組を支援養成した。 ● 新生児科指導医配置数 8人 【小児科医師育成事業】 ● 小児科専門医の養成・県内医療機関への配置に係る支援を行う。 ● 県内医療機関への小児科専攻医の配置医師数:延べ19名(7医療機関) 【小児救急電話相談事業】 ● 宮城県こども夜間安心コールを通じて、小児初期救急を補完するとともに、救急医療機関への適切な受診啓発に努めた。 ● 相談件数 20,364件	計画期間中に医師少数区域及び医師少数都道府県が計画期間開始時の下位33.3%の基準を脱するために要する具体的な医師数(産科・産婦人科)	宮城県	210人	令和2年度	宮城県	223人	令和6年度	宮城県 210人 (2026年度末)	達成	↗	【周産期医療医師養成・配置支援事業】 医療提供体制の維持・充実を図るため、事業内容を継続する。 【新生児医療研修センターの設置による新生児科指導医の養成】 小児科医師の確保・定着を図るため事業を継続する。 【小児科医師育成事業】 医療提供体制の維持・充実を図るため、事業内容を継続する。 【小児救急電話相談事業】 小児医療提供体制の維持・充実を図るため事業を継続する。
				仙南	7人	令和2年度	仙南	6人	令和6年度	仙南 7人 (2026年度末)	未達成	↘	
				仙台	169人	令和2年度	仙台	186人	令和6年度	仙台 169人 (2026年度末)	達成	↗	
				大崎・栗原	16人	令和2年度	大崎・栗原	15人	令和6年度	大崎・栗原 16人 (2026年度末)	未達成	↘	
				石巻・登米・気仙沼	18人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	16人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼 18人 (2026年度末)	未達成	↘	
				宮城県	289人	令和2年度	宮城県	293人	令和6年度	宮城県 289人 (2026年度末)	達成	↗	
				仙南	12人	令和2年度	仙南	10人	令和6年度	仙南 12人 (2026年度末)	未達成	↘	
				仙台	238人	令和2年度	仙台	245人	令和6年度	仙台 238人 (2026年度末)	達成	↗	
				大崎・栗原	19人	令和2年度	大崎・栗原	17人	令和6年度	大崎・栗原 19人 (2026年度末)	未達成	↘	
				石巻・登米・気仙沼	24人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	21人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼 24人 (2026年度末)	未達成	↘	
				宮城県	947人	令和2年度	宮城県	999人	令和6年度	宮城県 1,008人	未達成	↗	
				仙南	53人	令和2年度	仙南	55人	令和6年度	仙南 69人	未達成	↗	
				仙台	689人	令和2年度	仙台	732人	令和6年度	仙台 689人	達成	↗	
				大崎・栗原	87人	令和2年度	大崎・栗原	91人	令和6年度	大崎・栗原 119人	未達成	↗	
石巻・登米・気仙沼	118人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	121人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼 132人	未達成	↗					
宮城県	3,457人	令和2年度	宮城県	3,662人	令和6年度	宮城県 3,457人 (2026年度末)	達成	↗					
仙南	206人	令和2年度	仙南	214人	令和6年度	仙南 206人 (2026年度末)	達成	↗					
仙台	2,523人	令和2年度	仙台	2,748人	令和6年度	仙台 2,523人 (2026年度末)	達成	↗					
大崎・栗原	331人	令和2年度	大崎・栗原	292人	令和6年度	大崎・栗原 331人 (2026年度末)	未達成	↘					
石巻・登米・気仙沼	397人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	408人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼 397人 (2026年度末)	達成	↗					

分野	目指すべき取組の方向性	令和6年度の主な事業実施状況	数値目標							事業の今後の方向性	
			指標	計画策定時 (指標値及び把握時点)		把握可能な最新値 (2025年3月時点)		目標値 (2029年度末時点)	達成状況 (2025年3月時点)		進捗状況 (2025年3月時点)
医師以外の 医療従事者 の確保 (第2節 看護職員)	○ 地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域医療を担う看護職員の新規養成、確保及び県内定着促進を図るとともに、地域的及び領域的な偏在解消に向けた取組を推進します。	<p>【看護師等養成所運営等事業】 県内養成所の充実強化を図るため、その運営に要する経費を助成する。 ● 対象施設:10校11課程に補助</p> <p>【看護師特定行為研修支援事業】 県内の特定行為研修修了者の確保を図るため、特定行為研修に看護師を派遣する医療機関等に対し、派遣に伴う経費の補助を行う。 ● 8名7施設に補助</p> <p>【病院内保育所運営事業補助】 看護職員の離職防止と再就業の促進を図るため、病院内保育所の運営に要する費用を補助する。 ● 23病院へ支援を実施した。</p> <p>【潜在看護師等人材確保促進事業】 潜在看護職員に対する再就職に向けた講義及び臨床実務研修を行い、看護職員の確保定着を促進するため、研修を開催し、離職中の看護師等の潜在化を防止するため、「看護師等免許保持者の届出制度」の周知強化、届出の促進、復職を希望する看護師等とのマッチングの強化を図る。 ● 潜在看護職員復職研修会 9回 受講者数延べ89人 ● ナースセンターにおける普及相談員の配置 4人 ● 看護師等免許保持者の新規登録件数 173件</p>	特定行為研修修了者の就業者数	94人	令和4年度	160人	令和6年度	162人	未達成	↗	<p>【看護師等養成所運営等事業】 目標値の達成に向け、県内養成所の充実強化を図る事業を継続する。</p> <p>【看護師特定行為研修支援事業】 目標値の達成に向け、特定行為研修に看護師を派遣する医療機関等に対し、派遣に伴う経費の補助を計測する。</p> <p>【病院内保育所運営事業補助】 看護職員の離職防止と再就業を促進するため、院内保育所施設の運営を行う医療機関を支援する事業を継続する。</p> <p>【潜在看護職員等人材確保事業】 目標値の達成に向け、潜在看護職員に対する再就職、看護職員の確保定着を促進し、離職中の看護師等の潜在化を防止する事業を継続する。</p>
医師以外の 医療従事者 の確保 (第3節 リハビリテーション 専門職)	○ 障害のある人等が住み慣れた地域で生涯にわたっていきいきとした生活を送れるよう、リハビリテーションの提供と偏在解消を目指します。 ○ リハビリテーション専門職の更なる資質の向上を目指します。	<p>リハビリテーション専門職養成課程の卒業生の就職状況等及び在学生数調査を行い、卒業生(資格取得者)の推移、就職先の推移、出身地及び就職先等の結果を県内のリハビリテーション専門職養成校と共有、県のホームページへ掲載した。 リハビリテーション専門職を含む支援者を対象に研修会を実施した。</p>	理学療法士数(人口10万対)	49.4人	令和2年	52.1人	令和5年度	67.0人	未達成	↗	<p>リハビリテーション専門職養成課程の卒業生の就職状況等及び在学生数調査の継続、リハビリテーション専門職協会等の関係機関と情報交換を行い、人材育成、人材確保の強化を図る。</p>
			作業療法士数(人口10万対)	32.7人	令和2年	33.5人	令和5年度	37.9人	未達成	↗	
			言語聴覚士数(人口10万対)	11.0人	令和2年	10.7人	令和5年度	13.3人	未達成	↘	

分野	目指すべき取組の方向性	令和6年度の主な事業実施状況	数値目標								事業の今後の方向性		
			指標	計画策定時 (指標値及び把握時点)		把握可能な最新値 (2025年3月時点)		目標値 (2029年度末時点)	達成状況 (2025年3月時点)	進捗状況 (2025年3月時点)			
医師以外の 医療従事者 の確保 (第4節 歯 科医師・歯 科衛生士・歯 科技工士)	○ 歯科医療従事者を養成・確保する とともに、地域的な遍在の解消に努め ます。 ○ 歯科医療従事者の更なる資質の向 上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯科衛生士 離職防止を目的とし、医院を運営する 歯科医師に対して、労務管理に係るセミ ナーを開催。また、復職支援の障壁とな る技術的不安を解消することを目的と し、主に新人・復職を希望する歯科衛生 士に対して、技術的講義及び実習を実 施。 ● 歯科技工士 大規模講習会は2回／年実施。 その他職業PR動画配信。 	歯科医師数(人口 10万対)	仙南	54.0人	令和2年度	仙南	59.8人	令和6年度	仙南	85.2人以上 (全国平均)	未達成	↗
				仙台	89.1人	令和2年度	仙台	98.6人	令和6年度	仙台	89.1人以上	達成	↗
				大崎・栗原	58.5人	令和2年度	大崎・栗原	58.5人	令和6年度	大崎・栗原	85.2人以上 (全国平均)	未達成	＝
				石巻・登米・気仙沼	52.5人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	51.6人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼	85.2人以上 (全国平均)	未達成	↘
			歯科衛生士数(人 口10万対)	仙南	57.6人	令和2年度	仙南	67.5 人	令和6年度	仙南	113.2人以上 (全国平均)	未達成	↗
				仙台	107.9人	令和2年度	仙台	120.0人	令和6年度	仙台	113.2人以上 (全国平均)	達成	↗
				大崎・栗原	51.9人	令和2年度	大崎・栗原	55.2人	令和6年度	大崎・栗原	113.2人以上 (全国平均)	未達成	↗
				石巻・登米・気仙沼	59.4人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	72.6人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼	113.2人 以上 (全国平均)	未達成	↗
			歯科技工士数(人 口10万対)	仙南	21.0人	令和2年度	仙南	17.3人	令和6年度	仙南	27.6人以上 (全国平均)	未達成	↘
				仙台	32.7人	令和2年度	仙台	30.6人	令和6年度	仙台	32.7人以上	未達成	↘
				大崎・栗原	24.6人	令和2年度	大崎・栗原	20.7人	令和6年度	大崎・栗原	27.6人以上 (全国平均)	未達成	↘
				石巻・登米・気仙沼	29.8人	令和2年度	石巻・登米・気仙沼	24.9人	令和6年度	石巻・登米・気仙沼	29.8人以上	未達成	↘

歯科衛生士・歯科技工士の復職支援・
確保に資するよう、当初の事業内容を継
続しつつ、新規に歯科技工士の修学支援
も始める。